

いつまでも健やかに・・・

——私たちの願いです。

医療法人玉昌会 加治木温泉病院

発行 平成27年1月1日

広報誌 第36号

すこやかか加温



いかがお過ごしでしょうか、
ご自愛くださいませ。



目次

巻頭言（副院長 穂満博文）	2
在宅療養後方支援病院・雑誌掲載	3
回復期リハビリテーション病棟入院料Ⅰ	4～5
新入職員紹介	6
学会・研修	7
行事	8
変形性膝関節症 （総合リハビリテーションセンター）	9
骨密度UP!～骨粗鬆症予防のために～ （栄養室）	10
個人情報保護方針 etc	11
氷山の一角・編集後記	12

医療法人 玉昌会 行動指針

低 賞 感 微

低：全てに謙虚な気持ちで接する
賞：お互いを思いやり敬意を払う
感：全てに感謝する
微：微笑みを添えて態度で示す

巻頭言

寒さが続いていますが、いかがお過ごしでしょうか。

先日、驚くほどたくさんの鳥がへの字になって飛んでいるのを見て、始良市の渡り鳥について調べてみると、世界的にも珍しいクロツラヘラサギが越冬に加治木に来ていることを知り、さっそく見に行ってきました。

クロツラヘラサギは絶滅危惧種に指定されていて、世界で2000から3000羽程しかおらず、夏は朝鮮半島周辺で繁殖して、冬は九州や台湾、香港などに渡って越冬するそうです。サギという名前がついていますが、本当はトキの仲間とのことです。

干拓地の調整池の水辺に十数羽の群れでいましたが、昼間はくちばしを羽の下に入れてじっとしていることが多いようです。くちばしを水中で横に振りながエサを探すところも見ましたが、とてもかわいいです。そのせいか、クチバシに釣り糸が絡まったクロツラヘラサギが見つかりニュースになったこともあります。

自然の豊かな始良市で自然と共生しながら、健康に過ごせたら素晴らしいと思います。

加治木温泉病院では、持続可能な社会を構築するために、省エネルギー、省資源、廃棄物削減等の取り組みを行い、エコアクション21認証・登録事業者となっています。

エコアクション21とは、事業者が環境への取り組みを効果的、効率的に行うことを目的に、環境省が策定したガイドラインに基づき、環境への取り組みを適切に行っている事業者を認証・登録する制度です。

私たちは、地域の方々の健康、そして環境を守るため今後も活動してまいります。



加治木温泉病院 副院長
穂満博文

加治木温泉病院 理念 基本方針

《理念》

法人の行動指針である（低賞感微）に沿った医療・サービスを提供して地域に貢献します。

《基本方針》

1. 患者さまの尊厳と権利を尊重した医療・介護を目指します。
2. 患者さまの視点に立ち、良質で安心・安全な医療・介護の提供に努めます。
3. 地域でのニーズに沿った医療を担い、入院から在宅までの一貫した医療、介護の提供を目指します。
4. 病院および在宅サービス事業部の健全な運営を行い、安心して働きがいのある職場作りに取り組みます。
5. 健診や保健指導により地域住民の健康管理や病気および介護予防に取り組みます。

回復期リハビリテーション病棟入院料1 を取得しました

当院は長年にわたり始良・伊佐地域のリハビリテーション治療の普及と研修・啓蒙に協力する、始良高齢者保健福祉圏域地域リハビリテーション広域支援センターを鹿児島県から指定され、鹿児島大学リハビリテーション科にもご協力を頂き、リハビリテーション治療の重要性を地域にお伝えして参りました。

平成27年1月より、皆様のお蔭で始良・伊佐二次医療圏内（始良市・霧島市・伊佐市・湧水町）の医療機関として初めてリハビリテーション治療に特化した病棟基準「回復期リハビリテーション病棟入院料1」を取得する事が出来ました。

回復期リハビリテーション病棟入院料には、基準（1. 2. 3）の3段階が有り、それぞれの基準毎に治療達成目標が設けられています。入院料1は最も高い基準であります。

当院のリハビリテーションは、常勤のリハビリテーション専門医2名並びに鹿児島大学リハビリテーション科からの非常勤医師2名が診療に当たり、高度なリハビリテーション治療を行っています。当院は、リハビリテーション専門職の理学療法士、作業療法士、言語聴覚士等の70名が勤務し、鹿児島県内で唯一の院内義肢装具室も完備され、常駐の義肢装具士によるオーダーメイドの義肢装具を作成し、リハビリテーション治療に役立てています。

また、通所介護や訪問介護における在宅リハビリテーション治療は、医師、歯科医師、看護師、薬剤師、管理栄養士、歯科衛生士、臨床心理士、社会福祉士、介護福祉士等の他の専門職が協働して、日々質の高いチーム医療・介護を地域で行っています。

玉昌会グループは、今後も加治木温泉病院を中心に「地域包括ケアシステムにおける地方創生」に積極的に協力し、始良地域の皆様のご期待に添えるよう、努力して参ります。

病床機能別に様々な基準が設定されています。

病床機能別基準一覧(平成27年1月1日現在)

平成27年1月より入院料1を取得

主な基準	一般病床			地域包括ケア病床		回復期リハ病床				医療療養病床			介護療養病床
	7:1	10:1	13:1	入院料1	入院料2	入院料1 (体制強化加算)	入院料1	入院料2	入院料3	入院基本料1 (特定医療機能強化加算)	入院基本料1	入院基本料2	介護療養型 医療施設
在院日数	18日以内	21日以内	24日以内	60日		60~180日				304日			
重症度、医療・看護必要度	15%以上 (A9項目5以上かつ B9項目5以上)	※要件はないが、 10%以上の場合 加算あり		10%以上 (入院中A項目1点以上)		10%以上 (入院時A項目1点以上)							
在宅復帰率	75%以上			70%以上		70%以上	60%以上			50%以上			
重症者率						30%以上	20%以上						
重症者改善率						30%以上 (4点以上改善)	30%以上 (3点以上改善)						
回転率										10%以上			
対象患者割合						80%以上							
医療区分2以上割合										80%以上			
リハビリ単位数				対象者(1日平均2単位以上 包括)		1日2単位以上(9単位まで可) 365日実施		1日2単位以上 (9単位まで可)					
リハビリ人員配置				専従のPT又はOT又はST 1名以上		専従PT3名 専従OT2名 専従ST1名		専従PT2名 専従OT1名					
リハビリ加算	ADL維持向上等体制加算あり (研修要件等満たした常勤医師 1名以上、専従のPT又はOT又 はST1名以上)					充実加算(6単位以上) ※休日加算は包括		充実加算(6単位以上) 休日加算					
看護配置基準	7:1	10:1	13:1	13:1		13:1	15:1			20:1	25:1		30:1 ※正式表記は6:1
正看比率	70%以上			70%以上		70%以上	40%以上			20%以上			20%以上
看護補助者配置基準	※要件はないが、急性期看護 補助体制加算あり		※要件はない が、看護補助 加算1~3がある	※要件はないが、看護補助者 配置加算取得の場合(は25:1		30:1				20:1	25:1		20:1 ※正式表記は4:1
その他人員配置						専従1名以上 (研修要件あり) 専従社会福祉士 1名以上	専任医師1名以上						ケアマネ1名以上 (100:1)
データ提出加算	○			○									
病棟内浴室要件				○		○							
その他				①在宅療養後方支援病院(200床以上) ②在宅療養支援病院(200床未満) ③特急急示病院 ④二次救急医療施設 ※①~④のいずれかを取得									
当院の現基準			2階西				3階南			2階東 2階南		3階西	3階東

学会・研修

定期講演会～未来社会をあなたとともに～



平成26年10月4日(土)、始良高齢者保健福祉圏域地域リハビリテーション広域支援センター主催による定期講演会「未来社会をあなたとともに」が行われました。

講師に、株式会社ヘルスケア研究所副所長の酒井麻由美先生をお招きして、地域の行政機関や医療・介護施設等の専門職、地域住民の方々など257名の皆様に聴講していただきました。

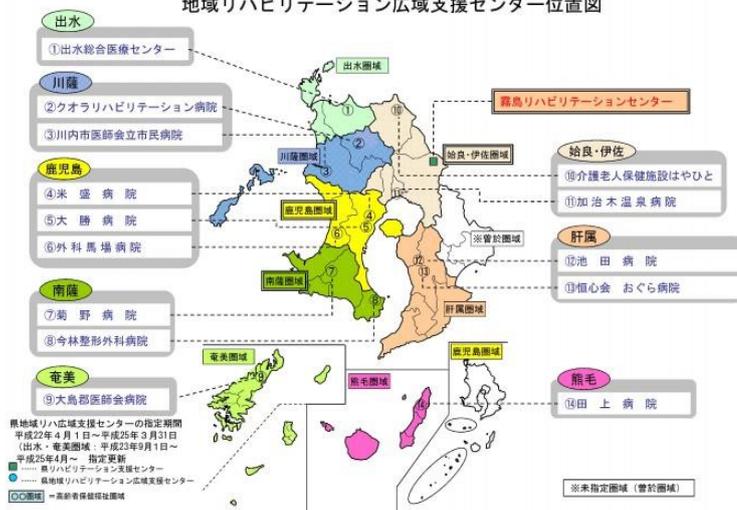
◎始良高齢者保健福祉圏域地域リハビリテーション広域支援センターとは

地域におけるリハビリテーションの中核となる機関として、おおむね高齢者福祉圏域ごとに1ヶ所指定されています。平成14年4月1日、鹿児島県より指定を受けて当院へ設置されました。

◎活動内容

地域リハビリテーション実施機関への支援、地域におけるリハビリテーション実施機関等の従事者に対する援助・研修、地域における関係団体・連絡協議会の設置・運営など

地域リハビリテーション広域支援センター位置図



日本慢性期医療学会

平成26年11月20、21日に行われた第22回日本慢性期医療学会に、当院より5題の演題発表を行いました。参加者からは、「日頃の取り組みに自信を持つことができた」「多職種連携や患者さまの満足度を高めるため日頃の業務に活用していきたい」との声が聞かれました。

◎発表演題

- ▷ ケアスタッフによる透析患者の生活機能向上への取り組み
看護部介護職 川影真由美
- ▷ 身体拘束を廃止できた抜針事故防止用ストッキング～使用基準作成の取り組み～
看護部看護職 藤井みゆき
- ▷ 慢性期病院におけるチーム医療への取り組み～医療クラークを配置して～
医事課医療クラーク係 上ノ町恵理
- ▷ 患者に合った、より適切な食事形態を提供するために～ソフト食・高カロリーデザートへの導入～
栄養室管理栄養士 集美咲
- ▷ 回復期リハビリテーション病棟におけるリハビリスタッフの感染対策への取り組み
総合リハビリテーションセンター理学療法士 大迫尚仁

その他の研修

◎院内研修

- 10月 環境対策
- 11月 身体拘束
- 12月 感染対策

◎フォローアップ研修

- 10月31日 第2回新人フォローアップ研修
- 11月28日 管理者フォローアップ研修

行事

大規模災害訓練

平成26年11月27日(木)、当院にて大規模災害訓練を行いました。

始良市消防本部協力のもと、在宅施設・鹿児島地区を含む当法人のスタッフが参加しました。

初めての大規模災害を想定した訓練に、とまどいも見られましたが、病院の防災拠点としての役割を再認識するとともに、今後の継続した訓練の必要性を感じました。

(平成26年12月5日付南日本新聞掲載記事) →

19 地域総合 2014年(平成26年)12月5日 金曜日

kagoshima local network

みなみネット

負傷者受け入れ確認 大災害備え病院で訓練

加治木

始良市の加治木温泉病院で11月27日、大規模災害に備えた訓練があった。院内でも訓練された。近隣の被災者を受け入れを想定、市消防本部の協力を得て、万が一の事態対応を確認した。

スタッフが約400人と消防約20人が参加。地震の報を受け、各部署の責任者が現地に立ち上げた本部へ不明者や負傷者の有無を報告し、消防隊が駆け付けると、被災の含容を伝えた。隊員は火災で病棟に取り残された患者の救助へ向か

同病院は350床、毎日約100人の外来がある。院内でも訓練しているが、大規模災害が起きると混乱が予想されるため初めて消防に依頼した。高田昌実院長(60)は「地域と連携して対処する一

けがで搬送された住民に、手玉の優先順位を決めるトレーニングの訓練もあった。参加者は災害時には患者の安全確保が第一で、高田昌実院長(60)は「地域と連携して対処する一

使用も担う医療機関の

トリアージの訓練をする参加者

始良市の加治木温泉病院



平成26年度玉昌会グループ始良地区忘年会



平成26年12月11日(木)、平成26年玉昌会グループ始良地区忘年会が行われました。

今回は来賓を含む約310名の方が参加し、恒例である職員による余興も行われました。

また、サプライズとして高田昌実理事長の還暦祝いを行いました。来賓の方々にもご協力頂き、各テーブルにこっそりと忍ばせたクラッカー、顔写真をプリントしたケーキを準備して職員一同よりお祝いをすることが出来ました。

餅つき

平成26年12月26日(金)、チェリッシュキッズルームの園庭にて毎年恒例の鹿児島・始良地区合同餅つきが行われました。

ベテランの職員にアドバイスをいただきながら、大小300個ほどの餅を丸め、お正月の準備を行いました。



変形性膝関節症

総合リハビリテーションセンター

【変形性膝関節症とは】

筋力低下、加齢、肥満などのきっかけにより膝関節の機能が低下して軟骨や半月板のかみ合わせが緩んだり変形や断裂を起こし、痛みを伴う病気です。

【症状】

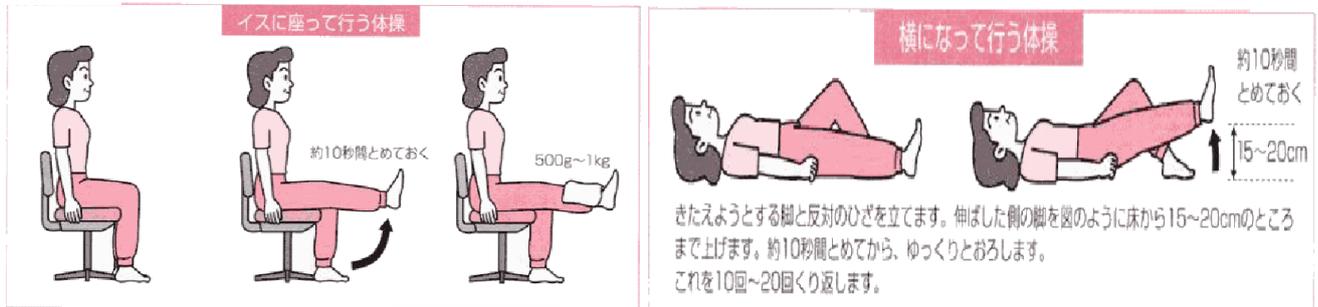
初期はなんとなく朝起きた時に膝がこわばったように動きにくさを感じる程度ですが、次第に正座など深く膝を曲げる動作や階段の昇り降りに痛みを感じるようになります。また座るとき、立ち上がる時など動きを変えようとする際に痛みが出るのも特徴。痛みは外側に感じることもありますが、内側に感じることも多いです。加えて、痛みのために膝を十分に曲げ伸ばしする機会が少なくなり拘縮をきたすようになります。



【治療】

○保存療法…日常診療においては手術療法よりも保存療法を行う機会が多い。適切に対処することで変形性膝関節症の自然経過を遅らせ、症状を軽減させることができます。疼痛を抑えるために温熱療法や寒冷療法、抗炎症薬を投与することは勿論有用ですが、同時に正座を避ける、杖をつく(杖は痛くない方につく)、サポーターを使用するなど日常生活でも膝関節に負担をかけないようにする必要があります。また、運動療法も効果的です。エルゴメーター(自転車)等膝への負担の少ない有酸素運動を行うことで、減量による膝関節への負担軽減や、積極的な膝周囲の筋力強化は膝関節を安定させ、症状を改善させる効果が期待できます。

自宅で出来る簡単な体操を紹介します



○外科的療法…外科的療法としては以下のようなものが挙げられます。

○関節内廓清術

関節鏡を使ってギザギザになった半月板や関節軟骨の凹凸、骨棘などを切除したり整えたりする手術。主な痛みの原因が半月板損傷や骨棘で関節の変形があまり進んでいない場合などに行う。感染症などの管理があるので数日の入院が必要。

○高位脛骨骨切術

○脚変形が進んでいる場合に、手術によってX脚気味に矯正し関節内側の負荷をへらして痛みをとる。脛骨を切って金属などでX脚気味に固定する。進行した変形性膝関節症ではよく行われる手術。「高位」とは脛骨の関節面から2~2.5cmの部分で血管が豊富で骨のつきがよいとされている。骨がくつつくまで固定が必要なので長期の入院と療養が必要。骨がついた後もしばらくは松葉杖などが必要。

○人工関節置換術

悪くなってしまった関節を、金属やプラクチック、セラミックなどでできた人工関節と置換える手術。上下の関節面を削り人工関節を埋め込む。高位脛骨骨切よりも入院・療養期間は短い。関節変形が高度の場合に行われ、痛みはほぼとれる。が、ひざの曲がる角度が制限されたり強い運動は難しく、人工関節の耐用年数は15~20年と言われゆるみや破損生じて人工関節を入れ変えなければならなくなることもある。また術後、感染症や血栓症などを起す場合もある。



骨密度UP！～骨粗鬆症予防のために～

栄養室

骨密度は、食習慣や生活習慣によって、ピークとなる18歳ごろまでに決まります。骨密度を高めるには、カルシウムを多く含む食品の摂取・日光浴・体をよく動かすことが役立ちます。骨粗鬆症を防ぐには、ピークを高くしておくこと、そして食事と運動で骨密度減少を緩やかにすることが大切になります。骨密度を上げるための生活習慣を始める時期は早いほど効果的ですが、いつ始めても遅くはありません。丈夫な骨のために、今日から始められる4つの食習慣を紹介します。

1. 毎日牛乳をコップ1杯飲みましょう

カルシウム

カルシウムを毎日確実に摂るにはやっぱり牛乳です！牛乳はカロリーや脂肪が気になって、控えてしまいがちな方もいるのではないのでしょうか。しかし最近の研究では、メタボリックシンドロームの予防や改善に牛乳や乳製品が有効そうだということが分かってきています。乳製品が苦手な方は、ひじき・切り干し大根・ちりめんじゃこ・さくらえびを活用すると良いでしょう。



2. 納豆を食べましょう

ビタミンK



ビタミンKは、カルシウムを骨に取り込むのを助ける栄養素です。納豆はビタミンKをととても豊富に含んでいる食品です。シンプルに納豆ごはんでもよいですが、お好み焼きやパスタにアレンジしてみると納豆の新しい魅力を発見できます。納豆をよく食べる東日本では、西日本に比べて骨折が少ないというデータもあります。

3. 青菜を食べましょう

ビタミンK

青菜類もビタミンKが多い食品です。カルシウムや、骨粗鬆症予防の有効性が分かってきた葉酸も豊富です。青菜といえばお浸しが多いですが、ビタミンKは脂溶性ビタミンなので炒め物等の油を使った料理をおすすめします。青菜は肉料理・魚料理・汁物等、どんな料理にも相性がよく、和風・洋風・中華とジャンルも選びません。



4. 魚を食べましょう

ビタミンD



ビタミンDはカルシウムの吸収を助けます。ビタミンDが足りないと、カルシウムの摂取が充分でも吸収や代謝がうまくいきません。ビタミンDが豊富なのは、サケやウナギ、サンマ、カレイなどさまざまな魚です。旬に合わせていろいろな魚を食べましょう。

※ワルファリンを服用されている方は、医師・薬剤師の指導に従い、ビタミンKを多く含む納豆は摂取せず、青菜を一時的に大量摂取することも避けましょう。



○個人情報保護方針

当院は、個人の権利・利益を保護するために、個人情報を適切に管理することを社会的責務と考えます。個人情報保護に関する方針を以下のとおり定め、職員及び関係者に周知徹底を図り、これまで以上に個人情報保護に努めます。

1. 個人情報の収集・利用・提供

個人情報を保護・管理する体制を確立し、適切な個人情報の収集・利用および提供に関する内部規則を定め、これを遵守します。

2. 個人情報の安全対策

個人情報への不正アクセス、個人情報の紛失、破壊、改ざんおよび漏洩などに関する万全の予防措置を講じます。万一の問題発生時には速やかな是正対策を実施します。

3. 個人情報の確認・訂正・利用停止

当該本人（患者さま）等からの内容の確認・訂正あるいは利用停止を求められた場合には、別に定める内部規則により、調査の上、適切に対応します。

4. 個人情報に関する法令・規範の遵守

個人情報に関する法令およびその他の規範を遵守します。

5. 教育および継続的改善

個人情報保護体制を適切に維持するため、職員の教育・研修を徹底し、内部規則を継続的に見直し、改善します。

6. 診療情報の提供・開示

診療情報の提供・開示に関しては、別に定めます。

7. 問い合わせ窓口

個人情報に関する問い合わせは、各部署責任者または以下の窓口をご利用ください。

個人情報保護相談窓口：地域医療連携センター

○診療情報の提供及び開示につきまして

当院では、患者さま・ご家族より診療情報の提供及びカルテ開示についてお申し出があった際は速やかに対応させていただくシステムになっておりますが、必要な条件書類等がございます。担当の窓口にて対応させていただきますので、ご遠慮なく病棟スタッフへお申し出ください。

○セカンドオピニオンにつきまして

患者さま・ご家族が、当院で十分納得して頂き、患者さまが主体的に治療を受けて頂く為に、第三者である他医療機関の医師の診療をうけることについてはそれに応じさせていただいております。同じく他医療機関を受診されている患者さま・ご家族についても対応させて頂いております。詳しくは地域医療連携センターまでお尋ね下さい。

○患者さまの権利宣言

すべての人は、人格を尊重され健康に生きる権利を有しています。患者さまにおかれましては、健康を回復し、維持増進するために、医療スタッフの助言協力を得て、患者さまの選択のもとに、最善の医療を受ける事は人として基本的権利です。

【平等で良質な医療を受ける権利】

患者さまは本人の経済的社会的地位、年齢、性別、疾患の種類などにかかわらず平等で良質な医療を受ける権利があります。

【選択の自由の権利】

患者さまは担当医師および医療機関を選択し、または変更する権利があります。またいかなる時でも他の医療機関の医師の意見（セカンドオピニオン）を求める権利があります。

【知る権利】

患者さまは、自らの状況（病名、病状、検査結果）について納得するまで十分に説明を受ける権利があります。

【自己決定権】

患者さまは納得できるまで説明を受けたのち、医療スタッフの提案する医療行為を自分で選択する、同意して受ける、あるいは拒否する権利があります。

【個人情報の保護】

患者さまは、全ての個人情報、プライバシーが守られる権利があります。

氷山の一角（意見箱より）



患者さま・ご家族様からのご意見・ご要望に関する回答

▼ いつも思っていたのですが、お風呂がない時に(中止の時)体を拭かないのですか？体を拭く時間がないのなら着替えだけでも、してほしいです。夏場は特に疥癬とか、なりやすいと思います
が…。

⇒大変申し訳ございません。入院時にご家族に説明させていただいております入院の御案内にも「入浴は、主治医の許可のもとで原則として週3回以上行います。入浴できない方は、清拭・部分浴をさせていただきます。」と謳っております。熱発等で急に入浴中止になる方もいらっしゃいますので、清拭については病棟の状況によっては対応が出来ない場合もございます。その際にはしっかりとご家族に対し説明をさせていただき、更衣等の対応を徹底していきたいと考えております。気になる点がございましたら、いつでも職員までお声かけ下さい。

ご意見箱は、外来と各階食堂談話室並びに腎センターへ設置してあります。患者さま・ご家族さまより頂きましたご意見に対して、当院では毎月開催しております「サービス向上委員会」にて検討し、改善策を導き出して対応させて頂いております。皆様からのご意見を今後ともよろしく
お願い申し上げます。

✿編集後記✿

広報誌をご覧くださいありがとうございます。暦の上では大寒が過ぎ、だんだんと春が近づいてきていますが、まだまだこれから！といった寒さですね。インフルエンザも流行しておりますので皆さま風邪などひかれませぬよう、お気を付け下さいませ。

(編集委員 西川)

※本掲載分の個人名・団体名につきましては個人情報保護法に基づき、本人またはご家族の同意を得て掲載されております。



医療法人 玉昌会 加治木温泉病院

〒899-5241

始良市加治木町木田4714

TEL 0995-62-0001 (代)

FAX 0995-62-3778

URL <http://www.gyokushoukai.com/>

診療科目

- 内科 ●消化器内科 ●腎臓内科(人工透析)
- 循環器内科 ●泌尿器科 ●耳鼻咽喉科
- リハビリテーション科 ●外科 ●消化器外科
- 歯科

